



令和8年5月14日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 中原 巖
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役執行役員 田中 邦彦
事務管理本部長
(TEL 03-5365-2500)

通期業績予想と実績値との差異および剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

令和7年5月14日に公表いたしました令和8年3月期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の通期業績予想と実績に差異が生じ、令和8年5月14日開催の取締役会において、令和8年3月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想と実績との差異について

令和8年3月期通期連結業績予想数値の修正（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 29,330	百万円 1,460	百万円 1,630	百万円 980	円 銭 52.69
実績（B）	27,353	1,455	2,094	1,659	89.65
増減額（B-A）	△1,977	△5	464	679	—
増減率（%）	△6.7%	△0.3%	28.5%	69.3%	—
（ご参考）前期実績 （令和7年3月期）	30,279	1,891	1,924	1,439	74.13

令和8年3月期通期個別業績予想数値の修正（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 19,070	百万円 1,160	百万円 850	円 銭 45.70
実績（B）	19,595	1,700	1,313	70.95
増減額（B-A）	525	540	463	—
増減率（%）	2.8%	46.6%	54.5%	—
（ご参考）前期実績 （令和7年3月期）	18,806	1,355	942	48.53

修正の理由

(連結業績)

売上高については、米国現地法人において、LNG 精製プラント基地地盤改良工事のトレーン4（第4工区）が、12月に本施工を開始したものの、今期は詳細設計および試験施工が大半であったことに加え、老朽ダムの環境保護工事での失注もあり、計画を下回りました。

一方、経常利益については、受取配当金 293 百万円、為替差益 353 百万円等の影響により、464 百万円増加しました。また、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益 173 百万円により、当期純利益は 679 百万円増加しました。

(個別業績)

経常利益については、受取配当金 443 百万円、為替差益 323 百万円等の影響により、540 百万円増加しました。また、経常利益の増加に加え、投資有価証券売却益 173 百万円により、当期純利益は 463 百万円増加しました。

2. 剰余金の配当について

配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (令和8年2月13日)	前期実績 (令和7年3月期)
基準日	令和8年3月31日	令和8年3月31日	令和7年3月31日
1株当たり配当金	30円00銭	27円00銭	24円00銭
配当金総額	548百万円	—	462百万円
効力発生日	令和8年6月29日	—	令和7年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

修正の理由

令和8年2月13日に、通期業績予想を鑑み、期末配当金を1株当たり22円から27円に増配することを決定しました。

さらに、今回、通期連結業績の確定を踏まえ、株主還元に応えるために期末配当金を30円といたします。

なお、次期配当金につきましては、今期と同じく1株につき30円を予定しております。

以上